

Casa

BRUTUS.

谷口建築〜ミュージアムグッズを最速で解剖。

ニューヨーク、 新生MoMAのすべて。



2004年の建築・デザイン総決算！
絶対見とかなきゃ43。

レストラン通が大激論。
2004年、ベストのお店はどこだ!?

ホテルも美術館も続々オープン。
完全復活、ニューヨークへの旅。

1

2005 vol.58
JANUARY
定価 880円

पत्तं तद्विस्तारणं गतिं दां तदादात



रुदरं बाहू द पृथीवा

レッド・ブルー&イエロー/ムンバイ

探していたsomething newは若い世代から。

中2階のオフィスから「この空間
全体を撮っておいてくれ」とのご
要望。赤いソファは50,000ルピー。



日本の座椅子を思わせるローチェアはサーも
ハティもお気に入り。各4,500ルピー。



天板が箱状、パズルのように動かせるテーブル。サーもしき
りに遊んでいた。テーク材。24,000ルピー。



右からポール28歳、カリシマ25歳、アシム27歳の3人。こ
の後、お互いのカメラで記念撮影大会になりました。



ソファ、ダイニングテーブル、ベ
ッドなどオリジナル家具と輸入雑
貨を置く。昨年末ゴアにもフラン
チャイズショップを。●(Red Bl
ue & Yellow) a-11 Laxmi woolen
estate, Shakti Mill Lane, Mahala
xmi, Mumbai ☎22-5666-2641。11
時~20時。日曜休。→MAP4-④

旅も終盤にさしかかり、コンラ
ンも少しお疲れ気味と思わ
れたが、この空間に入るなり、どう
やらアドレナリンが。モダンな家具
も好ましい様子だが、何よりうれし
げなのはポール、カリシマ、アシ
ムの3人とおしゃべりだ。世界の
どこでも、デザインと暮らしを愛す
る若い世代と会うと饒舌になるサー
なのである。「顧客は？」大半がム
ンバイです。その他も国内ですね
「UKの家具は中国に発注すること
が多いんだよ」「僕らは大量生産に
は興味なくて、目の届くハンドメ
イドにこだわりたい」。率直な会話
の成り行きも、サーを和ませる。
3人はそれぞれ大学や独学(1)で
デザインを学び、「インドの家具
は重くてデコラティブなものが多い
けど、もっとクリーンで現代的なデ
ザインを」と2000年にショップ
をスタート。家具作りの傍ら、ジャ
ズクラブでトランペットを吹いたり、
白黒写真に凝ったり、若さについて
は「家具はヨーロッパ志向だし、粗削
りな部分もある。しかし私は楽観的
なんだ。彼らは新しいことを始めた
んだから。もっと新しいものをこの
先も作ってってくれるだろう」